



・医師の動き

＜退 職＞ 2021.8.31付 櫻井 由佳（さくらい ゆか） 麻酔・集中治療科 医長

・医療福祉相談室からの情報

医療福祉相談室のご紹介

医療福祉相談室は患者診療支援センターに所属しています。
当センターは2003年4月に開設され医療福祉相談室、患者相談窓口、
がん相談支援センター、地域医療連携室の4部門を統合したものです。
現在13名の医療ソーシャルワーカーと事務職員が業務にあたっています。
ここ数年の動向として退院支援看護師と協働しながら地域の訪問等にも
出向いて顔と顔の見える連携を行っています。



医療ソーシャルワーカーとは、医療機関などにおける福祉の専門職で、様々な病気や怪我を負った患者さんやご家族を社会福祉の立場からサポートする人のことを指し、様々な悩みや課題に適切に応じ、より良い社会生活を送れるように支援を行っています。

近年、急性期病院を取り巻く環境は急速に変化し、在院日数の短縮はより一層厳しさを増している中で退院社会復帰に関する相談が全体の約6割を占め、その中でも無保険や身寄りなしなどのいわゆるソーシャルハイリスクを抱えるケースが年々増加しています。上記のようなケースの問題解決のためにも院内外の高職種との密接な連携が必要不可欠になっています。

現在コロナ禍で面会が厳しく、ご迷惑をお掛けしていますが、可能な限りケア会議や退院前カンファレンスを実施をしています。

引き続き一つ一つのケースに迅速かつ丁寧に寄り、より良い方向性を患者さんと共に考え、導いていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

患者診療支援センター 医療福祉相談室
医療ソーシャルワーカー 主任 武内 宏憲

・ホットラインのご案内

緊急時には医師が直接対応します。ご利用下さい。

循環器内科ホットライン 086-464-1078

循環器内科医師が直接対応します。
心臓疾患の救急患者の紹介、循環器系症例の相談、心電図の読影等にご利用下さい。

脳卒中ホットライン 086-464-1545

緊急時に、脳卒中科医師が直接対応します。
（日中は脳卒中科医師、夜間、日曜、祝日は脳神経担当医が対応します）

病院理念

- 1.医療は患者のためにある
- 2.すべての患者に対する深い人間愛を持つ
- 3.24時間いつでも診療を行う
- 4.先進的かつ高度な医療・教育・研究を行う
- 5.地域の医療福祉の向上と医療人の育成を行う

〒701-0192 倉敷市松島577
川崎医科大学附属病院 地域医療連携室
TEL＜直通＞086-464-1567
＜代表＞086-462-1111
（内線：22611・22613）
FAX＜直通＞086-464-1166